

アリスの高齢者住宅

報告者：八切 静江



★アリスさん

(ダンホステルオーナーのリサさんのお母様)は教育省や保健省の食堂で長い間調理師として働いていました。55歳の時脳梗塞を患い早期退職し現在年金生活です。最近では軽いパーキンソン症状がありますがご主人を亡くされてロスキレ市に移ってきて住んでいます。

★セントマリアパーク高齢者住宅

120年前にカトリック教会が病院として建設されものを高齢者住宅に改装された公立の施設です。普通高齢者住宅の部屋は同じタイプですがここは大きさはまちまちだそうです。



1 住宅の前の広場でアリスさんと友達のリジーさんが私たちを出迎えてくださいました。

共用のホールを見せていただいた後、リジーさんも自分の部屋を見せてくださるということで早速お二人の居室に向かいました。

アリスさんやリジーさんの部屋は寝室・リビング・ミニキッチン・バストイレがあり玄関先の占有部分も含め70㎡あるそうでゆったりしています。キッチンの台の高さ調節が可能になっており、将来車いす生活になっても使える配慮がなされて



います。洗濯は地下に洗濯機を持っており無料でできるようになっています。家賃は7000 クローネでアリスさんの負担は3000 クローネ支払っているそうです。

お二人のお住まいを見学させていただいてこういう住まい方ができる選択肢があることは本当に素晴らしいと思いました。

★最後に

アリスさんが以前にご主人の誕生パーティで聴いた日本語の歌をリクエストされたので皆で『もみじ』『上を向いて歩こう』を合唱しました。親しく歓迎して下さったお二人に感謝します。